《名誉会員講演》

最近の研究から

津　屋　　旭

㈱生体科学研究所

今回記念講演の名誉ある機会を与えてくださいました細田四郎会長ならびに学会会員各位に厚く御礼申し上げます．最近の研究の1～2についてご報告し，その責を塞ぎたいと思います．

I. 皮膚血流測定 (^{133}Xe) の形成外科領域における応用について

a) Delayed (2-step) deltoid flap の意義

b) 各種 deltoid flap の優劣比較

これは癌研在職中から現在まで引続き，帝京大学形成外科上田幸英君と協力研究を行ってきたもので，Amer. J. Reconstructive Surgery 掲載論文 (I–V 報，1978～89 年) の1部である．

II. Radiorespirometry の基礎研究への応用について

Radiorespirometry は当研究所重松博士の考案・改良によるもので，whole body animal の全身代謝の研究にきわめて有用である．

例えば，放射性炭素 (^{14}C など) 標識基質や薬物の代謝を，投与後連続的に記録された radiorespirogram を分析することにより種々の知見が得られる．その1～2例について報告する．

Presented by Medical*Online